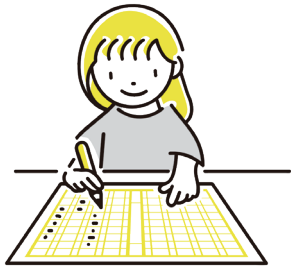


U-18 VOICE ACTION!

私たちの声の届け方を学ぶ

みんなの声・願いを「せいがん（請願）」してみよう！

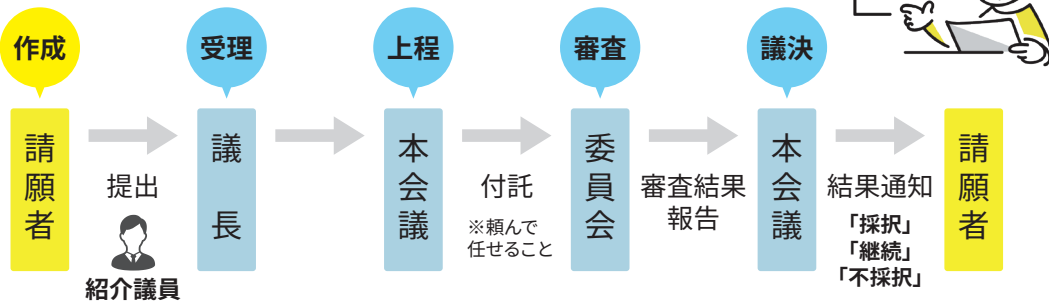


町のことや政治について、みなさんが直接声を伝える制度として「せいがん（請願）」があります。

自分の意見や希望をちゃんとまとめることで、社会や学校での環境やルールを改善する第一歩を踏み出すことができます。

声が届くまでのステップ

まずは議長が「請願書」を受けとり、会議にかけます。会議で担当する委員会を決め、委員会が内容を調べたり、本当に必要かどうか審査します。審査結果を元にさらに会議にかけ、正式に請願内容が認められるかどうか決まります。



CASE 小学生が声を上げて「サッカーができる場所」を守った [板橋区]

公園やグラウンドはみんなのものだ。僕らのような意見の人もいれば、反対の意見の人もいる。だから住民の代表の人たちが不公平にならないように決めるのが議会なんだって。

※NHK政治マガジン「僕らが”ちんじょう”したわけ」より

いつもサッカーをしていたグラウンドに突然現れた「ボールの使用はできなくなりました」の張り紙。おもいきりサッカーができる場所がなくなり、区長に手紙を書いたり、役所に電話をして調査をしたり、最終的には、「陳情書」を書き上げ、議会に提出。実際に委員会で審査が行われ、結果2つの陳情が採択されることになった。

◆ 板橋区議会第4回定例会に提出された陳情項目（要約）

- ①加賀2丁目公園の利用終了時間は現在16:30までです。下校してから公園を利用できる時間が短いので17:30まで延長してください。
- ②東板橋公園のグラウンドの団体予約を一定の日にするなど、一般開放の日時を下校後の定まった時間に設定してください。
- ③旧板橋第9小学校の校庭の平日利用を可能にしてください。
- ④子どもの意見をもっと聞いてください。
- ⑤サッカーや野球など思い切って出来る場所を増やしてください。

2項目目の東板橋公園のグラウンドについては、「現在の利用率が93%と高く、利用団体との話し合い必要」との意見があり継続審査となりましたが、12/16の本会議で全会派一致により1項目目と3項目から5項目目は採択されました。

U-18 VOICE ACTION!

私たちの声の届け方を学ぶ

「せいがん（請願）書」を作ってみよう！

解決したい問題を出してみる

- 1 付箋を使って、みんなで自由に出してみよう！
この段階ではできるかどうか、現実的かなど難しく考えなくてOK！
こうなったらいいなという希望でもOK！

今回請願してみたいテーマを1つ選ぼう

- 2 出してみた付箋の中から取り組むテーマを1つ選ぼう。

ヒアリングし合って、内容を整理しよう [ヒアリングシート 1/2/3 を使おう]

- 3 問題の現状や、解決すると嬉しい効果、どうなると嬉しいのかなどをヒアリングしてもらって整理しましょう。
ヒアリングする人は、わかりにくいところを更に質問するとだんだんとわかりやすくなります。

情報をまとめてみよう [情報整理シートを元にしよう]

- 4 ヒアリングシートを元に、情報をまとめてみよう。

請願書を書いてみよう [情報まとめシートを元にしよう]

情報整理シートにまとめたことを、請願書に清書しよう。

- 5
 - ・こんな問題がおきています → 1. 問題の設定
 - ・問題が解決するとこんないいことがあります → 2. 期待する効果
 - ・私が考えた解決するためのアイデア → 3. 請願事項・提案

必要事項を記入したら請願書が完成！

複数人で取り組むときの3つのコツ

前向き

「いいね！」
「おもしろい！」

あいづちを打つ

「うんうん」
「なるほど～」

オーバー リアクション

「めっちゃいいね！」
「スゴイおもしろい！」

実際におこっていること

おこっていることで何が困っているのか

ヒアリングシート 2

解決すると誰が喜ぶか、町にとってどういいか

喜ぶ人

喜ぶ内容・町にとっていいこと

ヒアリングシート 3

どうなってほしいのか

そうするためのアイデア

こんな問題がおきていて、こう困っています (ヒアリングシート 1 をまとめる)

問題が解決するとこんないいことがあります (ヒアリングシート 2 をまとめる)

具体的にこうなってほしくて、例えばこんなふうにとすると良いと思います (ヒアリングシート 3 をまとめる)

に関する請願

年 月 日

議会議長 様

住所

氏名

紹介議員

1. 問題の設定

2. 期待する効果

3. 請願事項・提案